



[蜂蜜を採取する五明さん](#)

掛川市在住の五明大田（ごめいおおた）さんは現在69歳。五明さんは多種多様な趣味をもっており、リタイア後の人生を楽しんでいます。その中でも今回はミツバチの「養蜂」について取材させて頂きました。「養蜂」は現役時代から趣味として取組んでおり、15年程になります。初めの頃は、今では数が非常に少なくなってしまった「ニホンミツバチ」の養蜂もしていました。ところが畑や田んぼの消毒薬に負けてしまいニホンミツバチが全滅してしまいました。現在は「セイヨウミツバチ」の養蜂をしていますが、時にはミツバチに刺されたりしながらの作業もあり、かなり免疫力もアップしたとのこと。

蜂蜜が採取されるまでの工程のお話を伺うと、どの工程についても楽しそうに話を聞かせてくれました。

「蜂蜜の糖度は何度くらいあるか知っていますか？」と聞かれ、実際に糖度計をもってきて目の前で計って見せて頂きました。驚くほどの高糖度でした。答えは最後にしましょう。



[瓶詰めされた100%蜂蜜](#)



[新しい巣箱](#)



[空の巣箱](#)

春になると新しい女王蜂が誕生し分蜂（ぶんぼう）が始まります。その頃に新しい巣箱を準備します。



[蜜蝋で出来ている巣礎](#)



[枠付けされた巣礎](#)

蜜蝋で出来た巣礎に型枠を取り付けます。一つの巣箱に10枚ほど入れます。よく見ると表面が細かい六角形になっています。これが巣の土台になります。



[新しい巣を作り始めた巣箱](#)



[それぞれの巣礎に作られた巣](#)

分蜂したミツバチが新しい巣を作るために巣箱に入ります。そして、新しい巣を作り蜜を集めたり女王蜂が産んだ卵を育てたりします。女王蜂は1日に2000個の卵を産み、働き蜂を増やしていきます。



[三段に積んだ巣箱](#)



[ミツバチのさなぎ](#)

三段に積まれた巣箱の中では次の働き蜂になる幼虫やさなぎがいっぱいです。



天敵のスズメバチ



完熟蜂蜜

ミツバチにとってはスズメバチが天敵です。時には巣を襲ってくるスズメバチを集団でやっつけることもありますが、5～6匹のスズメバチに襲われると壊滅状態になります。夏場から秋口にかけて襲われることが多いようです。この時期にはスズメバチに細心の注意を払っているということです。

五明さんが退治したスズメバチたち。(写真左)

びっしりと完熟蜂蜜が詰まった巣です。(白い部分の下には完熟蜂蜜がびっしり詰まっています)(写真右)

この巣礎1枚で約3kgの完熟蜂蜜が採取出来るということです。これが1つの巣箱に10枚入っているの  
ので約30kgの完熟蜂蜜が採取出来ます。



[ビービーツリー \(Beebee tree\)](#)

巣箱の近くにはミツバチが好んで集まる「ビービーツリー」が植えられています。(写真左)

ミツバチは花から蜜や花粉をもらいますが、植物界にとっては子孫繁栄となる「受粉」という大きな役割を担っています。  
花から花へと飛び回る「愛のメッセンジャー」となっているということです。

さあ、これから蜂蜜の採取です。

まず、巣箱から巣(巣礎)を取り出します。(写真右)



[巣を取り出している](#)



[巣の蓋をとっている](#)

次に蜜蝋で蓋をされた部分を削り取ります。(写真左)

それを遠心分離機にかけ蜂蜜を絞ります。(写真右)



[遠心分離機](#)



[ふるいで不純物を濾している](#)

遠心分離機にかけた後、蜂蜜をふるいにかけて濾し、不純物を取り除きます。(写真左)



[蜂蜜の瓶詰め](#)

最後に瓶に詰め100%蜂蜜の完成です！(写真右)



[糖度計で計ってみました](#)

そして糖度計で測ってみました。(写真左)

なんと82度以上もありました。

五明さんは、毎年1回、友人知人を招きBBQパーティーをしながら100%蜂蜜を採取し、皆さんにお分けしています。

昔から蜂蜜は健康長寿に効果があると言われていますが、五明さんも趣味として養蜂を楽しみながら健康寿命を伸ばし、健康長寿者となることを目標にしています。

(お問合せは五明大田さんまで 携帯080-4221-3391)

小笠・榛南地区 生きがい特派員 高井 豊



[100%蜂蜜の完成です](#)